

2019年1月14日掲載

治療中断の影響

病状そのものは進行

病気の治療は大抵の人にとって、好むものではありません。特に歯科の治療は一つの歯を治療するにも長期間かかる場合があり、痛みさえ治まれば良いと思い、完治する前に治療を中断してしまうことがままあります。治療を一度中断してしまうと、たとえ痛みが治まっても病状そのものは進行しており、極端な場合抜歯に至ることもあります。よく見られるケースを通し、治療中断で問題を起こす例を以下に示します。

①歯の根の治療（根管治療）が中断された場合は、非常に困るケースです。歯の根は非常に複雑で、根管治療はその複雑な部分を清掃消毒し、隙間なく封鎖密閉するという困難な処置です。痛みがないということで治療を中断してしまい、根が再び細菌により汚染され痛みが再発すれば、最初からやり直しということになります。

②歯に詰める物や入れ歯を作るために型を取り、その後中断した場合です。これらの詰め物や入れ歯は各患者さんに合わせた、いわばオーダーメイドのものです。精密に作られており、型を取ってから長期間経過した場合、やり直しが必要になってくることもあります。

代表的な二つの例を挙げましたが、歯をできるだけ長持ちさせたいと考えれば、治療を中断せず通院することを心掛けてください。